

## 令和7年度第2回江差町地域公共交通活性化協議会 議事録

<b>【日 時】</b> 令和7年9月26日（金） 10時00分～10時40分
<b>【場 所】</b> 江差町役場3階 第2委員会室
<b>【出席者】</b> 委 員：出席14名、欠席1名      代理出席者：1名      随行者：1名 事務局：3名                      事務局支援：1名
<b>【議事次第】</b> 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 議 題 (1) 江差小砂子線廃止及び上ノ国町 AI デマンドバス「カミ GO!」について (2) 函館バスダイヤ改正について (3) 江差マース運行実績について (4) かもめ号運行実績について 4. 閉 会
<b>【会議要旨】</b> 1. 開 会 ○ 事務局にて進行 ・委員出席者が過半数を超過しているため会議成立宣言  2. 会長挨拶 ○ 本年8月1日から江差町の副町長となり、本協議会の会長を務めさせていただくこととなった。公共交通を取り巻く現状については、路線バスの乗車人員が減少しているなか、高齢者が多いこの地域では、可能な限りドア to ドアの移動手段のニーズが増してきている。江差町ではこの間、江差マースやかもめ号といった独自の事業を展開している。上ノ国町においても新たなデマンドバスの導入が決定しており、将来への投資も拡大してきている。 ○ 過去にまちづくり推進課長を務めていた際、集落対策のアンケートにおいて、市街地に住まれている方のほうが移動に苦労しているという傾向が出ている。北部地域では公共交通は充足されていないが、住民同士の共助で移動が成立しているという結果が非常に印象に残っている。 ○ 本協議会は、町内の移動手段の確保や、隣接する町との連携した施策について、皆様の忌憚のない意見をいただき貴重な機会であると認識している。ある方が、公共交通は「まちづくりの装置」であるとおっしゃっており、私もそのように思っている。本協議会で皆様の意見をいただき、1人でも2人でも多くの方々が安心して、安全に移動できるような仕組みを作っていきたいと思っているので、よろしく願います。  3. 議 題 (1) 江差小砂子線廃止及び上ノ国町 AI デマンドバス「カミ GO!」について (2) 函館バスダイヤ改正について ○ 事務局から「資料1」～「資料3」により説明。 ・函館バス「江差小砂子線」については、江差ターミナルから松前町の原口漁港前を結ぶ

バス路線であり、1日あたり江差ターミナルから原口漁港前もしくは小砂子へ4本、原口漁港前もしくは小砂子から江差ターミナルまで5本運行している。主として、上ノ国町民の生活交通路線として利用されている路線であり、運行維持費の補助についても、上ノ国町が負担をしている。

- ・上ノ国町においては、利用状況や将来的な負担を見据え、令和7年10月1日から上ノ国町全域を対象とするAIデマンドバス運行を開始することとし、それに伴い江差小砂子線を廃止する方針としたところ。江差町としては、一部町内を運行する路線であり、上ノ国町の海岸線方面、松前町方面への移動の足となる路線ではあるが、利用状況、あるいは江差木古内線や江差マース、上ノ国町AIデマンドバスといった代替の交通手段の確保等が可能であることを踏まえ、廃止を了承することとした。
- ・今後本件については、広報えさし10月号への掲載や江差マース公式LINEなどを通じて周知を図っていく。
- ・10月から運行が開始する、上ノ国町のAIデマンドバス「カミGO!」は、時刻表や決まった運行ルートがなく、予約に応じてAIが最適なルートで運行する乗合型の交通であり、江差マースと同様の仕組みとなっている。運行地域は、上ノ国町全域及び江差ターミナルとなっており、江差町民は当然のこと、居住地域問わずに誰でも利用が可能。江差小砂子線の路線上もカバーしているため、江差小砂子線運行エリアに行かれる方は、カミGO!を使用していただくこととなる。運行時間は平日午前7時から午後6時、土日祝は午前8時から午後5時となっており、車両2台により運行する。予約は、電話、LINE、専用アプリの3つの方法があり、電話は午前8時30分から午後17時30分、LINEと専用アプリは24時間予約が可能なものとなっている。カミGO!に関する情報については、広く江差町民にも周知するため、広報えさし10月号へ掲載する。
- ・10月の函館バスダイヤ改正について、江差小砂子線廃止のほか、函館江差線と江差木古内線において、一部時刻や運行区間の変更がある。
- ・函館江差線については、函館バスセンター6時39分発、江差ターミナル行きの便、江差ターミナル18時46分発、函館バスセンター行きの便の時刻が変更となる。この2路線については、北斗市内の「小川」「石山」「村山」の3停留所が廃止となるが、その他の便については時刻、停留所ともに従来から変更はない。
- ・江差木古内線については、木古内駅前6時19分発、江差高校前行きの便、江差高校前18時13分発、木古内駅前行きの便について、それぞれ「木古内駅前～湯ノ岱」間が廃止となり、635系統として新設となる。635系統は、湯ノ岱7時7分発～江差高校前8時8分着、江差高校前18時13分発～湯ノ岱19:13着となる。その他の便について変更はなく、この2便についても他停留所の時刻変更はない。
- ・本件についても、先ほどの江差小砂子線の廃止、上ノ国町AIデマンドバス運行と同様に広報えさし10月号に掲載するほか、資料3について、広報えさし10月号への折り込みを実施するほか、昨年度末に作成し、町の公共施設に配架中の「江差町地域公共交通ガイドブック」へ折り込みを実施する。

#### 【以下、質疑等】

##### ①-1 (小野寺委員)

- カミGO!について、江差小砂子線の代替路線として、上ノ国町全域に加え江差ターミナルまでの運行となっているが、制度的にデマンドバスを運行する際に、運行区域は原則的に1自治体内となるのか、何かしらの条件が満たされ、協議が整えば、他地域間での運行、例えば上ノ国町から道立江差病院への運行なども可能なのか。

##### ①-2 (館下委員)

- 片足主義と呼ばれており、出発地点もしくは到着地点のいずれかがその地域であれば運行可能というのが基本的な考え方。この考え方に則ると、上ノ国町から道立江差病院の運行も可能ではあるが、これをしてしまうと、どこまでもいけてしまうということとなるため、今回上ノ国町としては協議のなかで、江差ターミナルまでという運行可能エリアを設定している。今後の要望によっては拡大するようなこともあるかもしれない。

#### ①-3 (小野寺委員)

- NPOとして活動していても、隣接町への移動希望は聞こえてくる。地域公共交通を広域的に連携して取り組んでいくというなかで、協議会、もしくは運輸支局や振興局を含め、そのようなことも検討していく必要性はあると思う。

#### ①-4 (出崎会長)

- 江差ターミナルまでの運行エリア設定は、説明にもあったとおり、江差小砂子線をそのまま補完するというものであり、江差町として予算的な負担はないという状況。委員ご指摘のとおり、今後広域的に江差町内へも運行拡大となった場合、当町としても予算の負担は発生することが考えられるので、そのような点や今後の運行状況等も踏まえ、拡大の可能性についても、本協議会で協議していきたいと思っているのでご理解いただきたい。

#### ①-5 (高岡委員)

- どういう制度かは別にして、利用する人にとっては病院や商店街などへも行ける方が便利であると、利用しない私が思う。上ノ国町で協議し取りまとめた事項をこの協議会で報告しているということか。

#### ①-6 (事務局)

- カミ GO!の詳細については、上ノ国町で協議・設計したものであり、今回はそれを当町の協議会で報告するというもの。
- 一点補足として、カミ GO!は上ノ国町が主体として実施するものであり、そこに対して江差町として直接かかわるものではないということをご理解いただきたい。今後、ターミナルよりも市街地まで延長するというようなことは、まずは主体的に上ノ国町のほうで考え、制度設計をしていくものとなる。江差町内は既存のバス路線のほか、江差マースも運行しているので、江差町民の町内移動についてはこちらを活用していただくこととしており、江差小砂子線をこれまで利用していた方については、ターミナルからカミ GO!を利用して移動していただくということを想定している。

#### ①-7 (出崎会長)

- 両名の意見とも、利用する人の利便性を考慮すべきであるというところだと思う。今日この場で何かを決めるということにはできないが、今後に向けてそのような意見も忌憚なく協議できればとおもう。

### (3) 江差マース運行実績について

- 事務局から「資料4」により説明。
  - ・ 令和7年度の4月から8月について、104日間の運行に対し868回の運行、延べ1,033人の利用、1日あたり9.9人の利用となった。昨年度と比較すると、1日あたりの乗車人数は低下しており、若干ではあるが、計画目標値に未達となっている。一方、夏場にかけて徐々に利用者数は伸びており、初回利用分をポイント還元する1周年キャンペーンを実施した8月は、1日あたり12.6人乗車と、本格運行開始以降最多の乗車数となった。
  - ・ 8月末時点で登録者は454名、うち、109名の実利用があった。実利用者のうち、約8割がリピーターとなっており、昨年と比較して、10回以上利用している方の比率が増加するなど、1度利用した方にとって、江差マースが生活の一部として定着してきている

と推測している。

- ・居住地別の利用状況については、昨年度に引き続き、南ヶ丘地区と円山地区での利用が多くなっている。また、昨年度と比較して、町外利用者が減少している。町内のみならず、観光客やビジネス客にむけた対外的周知について検討の必要性を感じている。
- ・全体の利用者のうち約75%が60代以上の方の利用となっており、特に80代以上の方の利用が増加している。家族や知人の紹介により登録に訪れる方が増えているほか、ケアマネジャーの訪問による登録も徐々に増えてきている。
- ・買い物利用の比率が昨年度から大幅に増加しており、利用最多は変わらず道立江差病院となっているが、ラルズマートやイエローグローブなどの利用も増えており、江差マースによる地域経済活性化の兆しが見える結果となった。また、令和7年度から追加した6箇所の乗降地点のうち、介護施設5地点・18件の利用があり、一定のニーズを満たすことができている。
- ・時間帯別の利用状況については、変わらず9時台、次いで午後一の利用が多く、午前中に行動を終了する人、午後から行動を開始する人の二極化がみられている。また、夜に開催するイベントのため、16時半頃に乗車される方も一定数確認できている。
- ・7年度の運行開始以降、資料に記載のあるものをはじめ、町内外で周知に係る活動を行ってきている。計画の評価指標にもなっている江差高校との連携については、8月9日に2回実施し、江差町の公共交通に係る現状や課題、江差マースの取組について説明を行った。今後の詳細な活動内容は未定だが、高齢者向けのスマホ教室の一環としてマースの予約方法をレクチャーすることなどを計画している。

また、9月12日には、札幌市で開催された200人規模が集まるシンポジウムへの登壇の機会をいただき、江差マースに係るこれまでの取組について事例紹介をさせていただいた。今後も引き続き、本協議会や、事務局のまちづくり推進課だけでなく、庁内各課や関連事業者とも協働しながら、地域公共交通網の維持確保を進めていく。

○ 出崎会長から補足説明。

- ・今年度の登録者が454人、江差町の人口で割ると7%ほどの方が登録しており、そのうち利用者が24%となっている。8月に副町長となり、アウトプットに左右されすぎず、アウトカム・効果を大事にしてほしいと担当に伝えた。この事業は未来への投資であり、これからスマホ世代が高齢者になっていくということを念頭におき、仕組みづくりを進めていく必要があると実感している。

【以下、質疑等】

③-1 (小野寺委員)

- 利用状況として、午前中の道立江差病院の利用が多いことが分かっている。先ほどの議題で説明のあったカミGO!については、午前7時から午後6時、小砂子線エリアの優先運行時間帯を除けば朝8時からということになるとおもうが、かなり早い段階で運行を開始しており、地域の状況をしっかりとつかんでいると感じている。江差マースは運行開始以降、時間帯の話も協議会で度々でてきており、人手不足等の問題はあと思うが、江差町として今後の時間帯の早期化という議論はされているのか、検討が進んでいるのかお伺いしたい。

③-2 (事務局)

- カミGO!については、上ノ国町における地域公共交通網の維持確保の考え方があり、そのうえでの運行方針設定であることをまずはご理解いただきたい。そのうえで、カミGO!は完全に廃止となる江差小砂子線の代替路線としての側面が強く、既存の公共交通網の補完としての役割である江差マースとは立ち位置が違うものであると認識している。

現状、委員ご指摘のとおり、人手不足等により運行体制確保が困難であることや、既存のバス路線運行時間等を踏まえ、9時からの運行時間を設定し、具体的に変更する協議をしているという状況ではないが、今後の公共交通網に係る情勢を注視し、必要に応じて柔軟に対応していく所存なので、ご理解いただきたい。

#### (4) かもめ号運行実績について

- 事務局から「資料5」により説明。
  - ・ かもめ号は、江差町、上ノ国町、厚沢部町の檜山3町と、函館空港を直接結ぶ事前予約制乗合タクシーであり、観光客や帰省客、イベントの担い手、参加者に大きな負担となっていた移動時間を約半分とすることで、移動に係る負担を軽減するとともに、公共交通需要の開拓及び利用促進を図るもの。本事業は、昨年度に実証事業として、運行主体である函館タクシーと檜山3町などの共創により実施しており、昨年度の実証実験の結果を踏まえ運行方針を一部変更し、令和7年度事業を実施しているところ。
  - ・ 運行期間について、今年度は7～9月の金～月曜日、お盆期間は毎日運行としており、運行便については、昨年度に利用のなかった便や極端に少なかった便を減らし、空港発着それぞれ2便ずつの計4便としている。乗降地点について、江差町内は、道立江差病院、壱番蔵、コミュニティプラザえさしの3箇所としており、函館空港から来る便について、運行経路上であれば任意の場所で降車が可能。運賃は一律5,000円としており、予約方法については、昨年度はHPからの事前予約のみとしていたが、今年度は、電話による予約も可能とした。
  - ・ 8月までの運行実績について、実運行便数が152便中24便で稼働率15.8%、延べ利用者32人と、今年度運行を1か月残している状況だが、既に昨年度とほぼ同等の実績がでている。電話予約を可能にしたことや、昨年度はキャッシュレスによる事前決済のみを受け付けていたところ、今年度は降車時の現金決済も可能にしたことなどにより、利用ハードルが下がっていることが要因と考えられる。
  - ・ 特徴として、昨年度・今年度ともに江差町での発着が多い傾向にある。姥神大神宮渡御祭や江差追分全国大会の開催時期に利用者が増加傾向にあることや、奥尻町へ行き来する方の利用が一定数あることも、江差町での発着が多いことの要因の1つと推測している。
  - ・ もう1点の特徴として、往復利用が少ない点が挙げられる。来年度どのような体制で事業を実施するかは未定だが、運行曜日や時間の設定についても見直しの余地があると考えている。運行期間終了後、実績を踏まえ来年度事業について協議を実施することとしている。

#### 【以下、質疑等】

##### ④-1 (高岡委員)

- 江差町・上ノ国町・厚沢部町の3町を結ぶものということは理解したが、なぜ乙部町が入っていないのかが気になった。また、空港のほか、檜山地域へ行き来する方としては、新幹線の利用が想定されるが、新函館北斗駅にも停まれるということをも明記したほうがいいのではないか。

##### ④-2 (事務局)

- 乙部町の参画については、今年度の本格運行開始にむけた協議のなかでも議論となったところだが、かもめ号は函館空港から渡島中山峠を経由し、厚沢部町・江差町・上ノ国町のルートで運行しており、今年度は本格運行の開始年であることから、まずはこのルートでの運行の枠組みを定着させいくことが重要であるということも考慮し、今ご説明した運

行方針をとっている。来年度以降は、今年度の運行実績等を踏まえ、乙部町も含む近隣地域への拡大の可能性も踏まえ協議をしていく。

新函館北斗駅については、この事業では通過はするものの、乗降地点としては指定しておらず、あくまで直通便のない函館空港間の移動を短縮するもの。新函館北斗駅については、函館バスの函館江差線が同様の経路を運行しており、そちらと棲み分けしているものであるとしてご理解いただきたい。

#### ④-3 (事務局)

- 事業開始に係る議論のなかで、乙部町をルートに設定してしまうと、江差・上ノ国方面に戻ってくる際にどうしても時間を要してしまうことがあり、移動時間の短縮に重きを置いている事業でもあるので、現状は3町の枠組みで実施している。道立江差病院を乗降地点として設定しているの、乙部方面についてはそこでの乗り換えを想定しての設計としている。ただ、現状で完成ということではなく、様々な枠組みは想定されると思うので、そこは今後も協議をしていきたい。

#### ④-4 (出崎会長)

- 説明にあったとおり、かもめ号は現状、江差町・上ノ国町・厚沢部町の枠組みで実施しているが、高規格道路を運行する場合、木古内周りということも1つの選択肢にはなると思っている。本件については各町での協議・合意形成が必要な案件にはなってくるが、いずれにしても、現状が終わりではなく、どのように発展させていくか、またどこをやめていくかを検討協議しながら進めていくことが重要と考えているのでご理解いただきたい。

#### ④-5 (館下委員)

- マースの話にも共通しているが、前提として、既存のバス路線の担い手である函館バスが、人手不足等の課題もありながら、かなり企業努力をされて運行していただいているという状況であり、そこは維持していく必要がある。そのうえで、どうしても足りない部分について、補完していくというスタンスでなければ、函館バスへの乗車が減り、撤退というような状況にもなりかねないので、そこは意識していただきたい。

新函館北斗駅の話も意見として出てきたところだが、かもめ号はあくまで直行便がない函館空港を直接結ぶものとして事業を実施している経緯もあり、新函館北斗駅は既存のバス路線が走っている施設であり、そこの棲み分けは大事になる。会長からも、木古内周りを含めた様々な議論の可能性について発言があったが、バス路線を守るという視点を重要視していただきたい。

#### ④-6 (出崎会長)

- 館下委員のおっしゃるとおりだと思うので、そういった視点を念頭において今後の議論を進めていきたい。

## 4. 閉 会